

コミュニケーションの新時代をリードしよう

これまで培ってきた動画の制作技術を基本に、新しい技能技術やメディアを取り込んだコミュニケーションの探求を目指すITVA - 日本は、3つのステージで活動を行っています。

技能技術向上の場としてのセミナー・研究会の開催
技術評価のためのコンテスト
情報交流の場としてのホームページ・ジャーナル

技能技術向上

セミナー & 研究会

映像制作の技術、最新事例の研究など、ビジュアル・コミュニケーションに関わるさまざまなテーマでセミナーを開催しています。企画・構成、撮影、編集などの映像制作関連、ストリーミング技術やデジタルコンテンツ技術などのソリューション・インフラというように、テーマ毎に進めます。ITVA - 日本のセミナーの特色は、参加型のツウウェイスタイルを基本としていることです。日常の仕事の場で感じる疑問、抱える課題をお互いに話しあえる場、参加者同士の交流の場でもあるのです。さらにハード・ソフトメーカーとのコラボレーションを図り、ユーザー団体として現場の声を商品企画に反映させていく役割も担っています。

技能評価

コンテスト

ビジネスの現場をいきいきさせ、人を動かし、企業を変える。映像にはそんな力があります。ITVA - 日本のコンテストは、ビジネスビデオの草創期からスタートし、映像コミュニケーションの可能性を拓く数々の作品を評価し、表彰してきました。2001年のコンテストから、最終審査を公開視聴による「ITVA - 日本コンテストフォーラム」の場で行い、多数の制作現場の方々の目で優秀作品が選定されています。

「映像情報管理者」資格制度

ますます高まる動画コンテンツのニーズ。それに対応すべく、映像制作者スキルの客観的評価・計量を行うための、「映像情報管理者」資格制度を世界にさきがけITVA - 日本が導入しました。今まで各企業・団体の中でノウハウとして受け継がれてきた資産を公開し、体系付けたカリキュラムでの講座・試験によって認定を行います。一人でも多くの方に資格を取得していただき、映像コミュニケーションの重要性をさらに社会に訴えていきたいと思ひます。



関西支部

一人でも多くの会員の方々に参加していただけるよう、関西地域中心のセミナーも開催しています。

国際活動

ITVAは、1968年にアメリカで設立され、以来、世界10数カ国のネットワークを持つ組織に成長し、活動しています。ITVA - 日本は、その一員として積極的に国際活動を展開し、これまでに、海外企業の視察や、国際映像コンテストへの参加などワールドワイドな交流を推進しています。さらに、海外の企業や映像制作プロダクションのご紹介など、さまざまなご相談、お問い合わせにも対応しています。

情報提供・交流

ジャーナル・ホームページ

ITVA - 日本では、ジャーナルを季刊で発行し、会員の皆様にお届けしています。さらにホームページでは、情報提供はもちろん、活動のお知らせ、セミナーの案内および報告レポート、困ったことや質問を話し合ったり意見交換を行える掲示板など、会員相互の情報交換を中心に展開しています。ITVAへのご意見やご要望も受け付けていますので、積極的にご利用下さい。

ITVA - 日本とは

ITVAとは International Television Association(国際企業映像協会)の略で企業における映像情報の利用技術や制作技術の追求、会員相互の情報交換を行うグローバルな団体で世界中に19の支部があります。

この文化的な活動が認められ世界で2番目にNGO(非政府・民間団体)に指定されました。

ITVA - 日本はその一員として1982年に設立されたわが国で一番大きな企業映像コミュニケーション団体であり、現在、企業団体・個人あわせて270余の会員が所属し、会員相互の技術や情報交流を行っています。

「動画制作技術をコアにデジタル映像・情報を組み込んだ新しい映像コミュニケーションの世界を目指しています」

近年、映像を取り巻く動向は、社会に於ける価値観の変化、デジタル化の急進展、それに伴うコミュニケーションスタイルの多様化など、既存技能だけでは対応が不可能な時代へと大きく変化しています。この映像のボーダレス化の状況下に、会員の皆様がこれまで培ってきた動画の制作技能のノウハウを生かしながら、更に動画周辺のデジタルコンテンツ制作の方々にも参加して頂き、技能技術の融合から、新しい映像の世界の創造を目指しています。

この新しい映像コミュニケーションの世界を創造するため、ITVA - 日本は会員の皆様が役に立つような技能修得の場の提供や情報発信 / 交流、そして技能評価の場など、ノウハウ習得に向けて、様々な場を会員の皆様に提供して行きます。